

Progressive Baroque LIVE in Fukuoka 2024

チケット
ぴあ

Pコード
283-152

Progressive Baroque LIVE in FUKUOKA 2024
— 17世紀イタリア新音楽とスペイン黄金世紀の深音楽 —
presented by  Media Five Co.



古橋 潤一
(リコーダー)



神野 和美
(リコーダー)



川久保 洋子
(ヴァイオリン)



森川 麻子
(ヴィオラ・ダ・ガンバ)



小貫 詠子
(チェロ)



能登 伊津子
(オルガン)



HAMA
(パーカッション)

2024
12/04 水

19:00開演 @福岡 | あいれふホール

曲 目

- Antonio de Cabezón : Romance "Para quien crie yo Cabellos"
アントニオ・デ・カベソン : ロマンセ「誰のために髪を長くしたのか」
- Juan Cabanilles : Batalla Inperial de quinto tono
J. カバニーリエス : 第5 旋法の「皇帝の戦い」
- Juan Cabanilles : Tiento de contras de quarto tono
J. カバニーリエス : 第4 旋法の足鍵盤付きティエント

他



メディアファイブ株式会社

主な事業 : システム受託開発 (SD)
システムエンジニアリングサービス (SES)
ITアウトソーシング「オフィスドクター」
プログラミングスクール「アキバ・テックドリーム・アカデミー」
福岡本社 : 福岡県福岡市中央区薬院1-1-1
薬院ビジネスガーデン6階

Q-Board
証券コード : 3824



日 時 : 2024年12月4日(水) 18時30分開場・19時00分開演
会 場 : あいれふホール(福岡市健康づくりセンター)
〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴2丁目5-1
チケッ ト : 全席自由 | 当日:4,500円/前売:4,000円(ペアチケット:6,000円/学割あり)
主 催 : メディアファイブ株式会社 コンサート実行委員会
後 援 : 福岡市 / (公財)福岡市文化芸術振興財団 / 新・福岡古楽音楽祭実行委員会
お問 合 せ : 電話 : 0120-262-242(担当:中島) / Eメール : m5concert@media5.co.jp
サイト : <https://www.media5.co.jp/special/concert/20241204-fukuoka/>

Progressive Baroque LIVE *in Fukuoka 2024*



古橋 潤一 (リコーダー)

桐朋学園大学音楽部古楽器科卒業。第30回ブルージュ国際古楽コンクール入選。日本の主要古楽器アンサンブルのメンバーとして音楽祭、演奏会に出演。CDの録音にも多数参加している。17世紀イタリア・スペインの音楽を主に演奏するアンサンブル、メディア・レジストロ主宰。また、その時代の楽譜の出版も手掛けている。CD『メディア・レジストロ』『スパニッシュ・プログレッシヴ・バロック』リリース。2017年にはスペイン大使館にて演奏会を開催し好評を博した。また、2023年には松竹制作の舞台「陰陽師 生なり姫」の音楽監督、編曲、演奏などをつとめ、活動の幅を広げている。桐朋学園大学古楽器科非常勤講師。



神野 和美 (リコーダー)

桐朋学園大学古楽器科・リコーダー専攻後、ハンガリーへ留学。リスト音楽院・ELTEブダペスト大学音楽科にて、合唱指揮や音楽教授法を学ぶ。帰国後、古楽器や合唱指揮の演奏活動のほか、教育の分野では、特にコダーイの理念である、わらべうたからの子どもの教育に関心を持ち、全国各地に講演や研修に向かっている。国際コダーイ協会会員、日本コダーイ協会会長。プラトン音楽院代表。平成音大講師、福岡音楽学院理事、全音・鈴木楽器講師。遊びの施設「あそびたいけんミルクキーウェイ」の乳幼児スタッフ運営事務局長。



川久保 洋子 (ヴァイオリン)

東京出身、フランスリヨン在住。室内楽やオーケストラで多彩に活動するだけでなく、自身のアンサンブル Ensemble Les Timbres レ・タンブルではブルージュ国際古楽コンクール優勝、リリースしたCDは次々とフランス音楽誌 Diapason で金賞を受賞、その他にもミニオペラ、スペクタクルコンサートなど幅広いプログラムを展開してヨーロッパ各地で演奏活動をしている。2006年より Gli Incogniti のメンバー、Ensemble Pygmalion、Le Caravans é rail、El Gran Teatro del Mundo、Le Poeme Harmonique、Bach Collegium Japan、Medio Registro、Ensemble Marquise など国内外で活動。2021年よりリヨン地方音楽院の教員となる。桐朋学園、東京芸術大学、フランス国立リヨン高等音楽学院出身。



森川 麻子 (ヴィオラ・ダ・ガンバ)

桐朋女子高等学校音楽科にてヴァイオリンを徳永二男氏に、同大学古楽器科ではガンバを中野哲也氏に師事。オランダのハーグ王立音楽大学で W. クイケン氏に師事しディプロマを取得。ドイツ国立ブレーメン芸術大学でバロックヴァイオリンを学ぶ。英国のガンバコンソートグループ FRETWORK のメンバーに迎えられ、古楽及び現代音楽を世界各地で演奏、録音。各地の講習会にて指導。ケント州に「Folkestone Early Music」を設立。2022年春帰国。東京芸術大学非常勤講師。



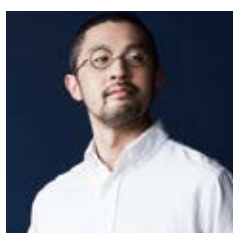
小貫 詠子 (チェロ)

都立芸術高等学校を経て東京芸術大学卒業。同大学大学院修士課程修了。在学中、室内楽定期演奏会オーディション合格。(旧)ドイツ国立アウグスブルグ・ニュルンベルグ音楽大学卒業。室内楽に於いて松尾音楽奨励賞、リゾナーレ音楽祭にてマイカル賞授与。オホーツク音楽祭、湯布院音楽祭に出演。大竹しのぶ主演の舞台「エディット・ピアフ」のチェロを担当。チェロを向山規矩子氏、河野文昭氏、マルクス・ワグナー氏に師事。現在、埼玉県立大宮光陵高等学校音楽科チェロ講師。バンベルク東京カルテット、フィオーリカルテットのメンバー。



能登 伊津子 (オルガン)

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。グレゴリオ音楽院オルガン本科、専攻科卒業。オルガンを鈴木雅明、岩崎真実子の各氏に師事。1994年白川イタリアオルガン音楽アカデミーに於いてピストリア賞受賞、翌年イタリアピストリアオルガン音楽アカデミーに招待される。同アカデミーに於て L.F. タリアビーニ、J.L. ウリオールの各氏に師事。1998年スペイン政府より奨学金を得てダローカ国際古楽アカデミーに参加。オルガン、チェンバロ奏者として、数多くの演奏会に出演している。初期イタリア、スペインバロックをレパートリーとするアンサンブル『メディア・レジストロ』のメンバー。CD『メディア・レジストロ』『スパニッシュ・プログレッシヴ・バロック』(レコード芸術誌 準特選盤)をリリース。



HAMA (パーカッション)

パリ・ガムラン、アラブ・パーカッション奏者。「滞空時間」「SAICOBAB」「スーパージギスカンズ」「サンミツ」などで活躍中。杉原邦生演出の舞台「血の婚礼」、NODA・MAP 第22回公演「贗作 桜の森の満開の下」劇中曲への参加や、劇団四季ミュージカル「南十字星」のガムラン演奏指導及び楽曲アレンジなど、舞台芸術への参加も多い。民族音楽や古典という枠にとらわれず様々なジャンルで活動し、高い評価を得ている。

Next
2025
6/5

メディアファイブ株式会社は、来年の2025年6月5日(木)に
本公演と同会場にてコンサートを主催予定です。

Media Five Co.

